

【3-2】日常生活支え合い実践事業

かたかみ交流の場づくり事業 (鯖江市)

基礎情報

実施地域 鯖江市片上地区
実施主体 鯖江市片上幼稚園
所在地 鯖江市大野町16-6
代表者 濱野 和広



平成23年度の事業概要

近隣の高齢者や地域の方が交流できる居場所づくりのために、テレビやCDデッキ等の備品や絵本を整備した。

〈地域との交流会〉

煎茶教室、近松音頭教室、ミュージックタイムなどの講師として幼児教育に力を発揮される地域の高齢者から伝承遊びを教えていただきながら、交流を深めた。

〈体操教室の開催〉

地域の高齢者や保護者・未就園児親子と一緒にCDラジカセを使って体操教室を体験し、共に体を動かす爽快感を味わいながら交流を深めると共に園行事のビデオを鑑賞することにより、幼稚園に親しみを感じ、理解を求めながら園児との交流を図った。

現在の活動状況

〈茶道教室〉

月1回教室を開き、月に4・5名の高齢者の方が講師として来園している。1月には、茶道教室後にお楽しみ会を企画して幼児との触れ合いを楽しんだ。

〈近松音頭教室〉

週1回行っている。習った踊りは、地区のお祭りや文化祭などで披露している。

〈高齢者宅訪問〉

金柑とり体験のほか、ドングリ拾いや、メダカの観察の場の情報をいただき、交流の機会を増やした。

〈ちまき作り体験〉

地区の婦人福祉の方と共同で、地域の高齢者の方にご指導いただきながら、ちまき作り体験を行った。

〈ありがとう会〉

お世話になった地域の方を幼稚園をお招きして、視聴覚機器を活用しながらゲームをしたり歌を歌ったりして、楽しいひと時を過ごした。

事業の実績、成果

- ・高齢者が地域に出るきっかけとなると共に、相互の交流が図られ、幼稚園が地域のセンター的役割の一端を担うことができた。

工夫した点

気軽に園児と触れ合いの場として利用しやすいよう心がけた。



事業の財源

平成23年度地域支えあい体制づくり補助金で備品を購入。
高齢者との交流の運営に必要な教材費は、市予算で対応している。

課題

同じ人との交流が多く、交流の輪が広がっていない。
年間を通して開放してはいるが、地域住民がもっと気軽に訪れることができるような工夫が必要である。

今後の目標

- ・ 視野を広め、様々な情報を収集して、幼児がいろいろな体験を地域の方から学べる事業計画を盛り込んでいきたい。
- ・ 地域の高齢者の実態を関係機関との連携により把握し、園開放日に多くの高齢者が訪れることの出来る地域に開かれた園作りに努めていきたい。

団体からのメッセージ

「元気いっぱい かがやく子」を育成しています。

元気な『もんじゅっこ』と一緒に、元気に過ごしましょう。

